

第429回 番組審議会

1. 日 時 平成20年2月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 10名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	高橋 三男
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子

欠席委員	委員	梅村 俊男
	委員	西郷 喜代子
	委員	森本 雅司

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	沢 行則 (制作局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 「啄木のふるさと盛岡～新井満 ‘ふるさとの山に向ひて’」

1月14日（月）午前9時55分～10時25分

（2/3（日）BS日テレで16:30～放送）

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・月間民放
- ・視聴率チラシ

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会の議題「啄木のふるさと盛岡～新井満 ‘ふるさとの山に向ひて’」は、テレビ岩手では、1月14日（月）午前9時55分～10時25分
BS日テレでは、2月03日（日）午後4時30分～5時
で放送いたしました。

委員側意見

- ・映像と音楽の構成は良かったのではないかな。
- ・BSの全国放送向けの番組ということですので、番組のねらい、伝えたかったことをお聞きしたい。
- ・山本さんと新井さんのトークで、静かで温かみのある話し方だったが、声が聞き取り難い部分があり、さらにナレーションがかぶるところがあったので、余計にそういう感じがした。
- ・折角新井満さんに登場していただいたので、曲を中心とした番組の作り方というのも一つだったのではないかな。
- ・今年、去年という時間軸のずれが気にかかった。
- ・富士見橋について、もう少し上手く活用したら良かったのではないかな。
- ・お酒のシーンは、唐突な印象を受けたという意見が多数でした。
- ・冬にロケをしたので、秋の映像などを使わずに、季節感を大切にしたら良かったのではないかな。
- ・盛岡駅前でタクシーが並んでいる映像は必要ではなかったのではないかな、句碑や公園の落葉が目立った映像など、細かい所も配慮をして欲しかった。

社 側

この番組は、盛岡市ブランド推進室企画の広報番組です。テーマとしては、盛岡と玉山村が合併して『石川啄木』が盛岡出身の歌人・偉人になったので、“啄木のふるさと盛岡”を幅広くPRするという企画を基に制作した番組です。従って、県外から誘客をしたい、啄木関連のブランド品作りをしたいという意図があります。お酒に関しましては、新井満さんは自分の故郷新潟で「千の風になって」というお酒を作り、地域おこしのためのブランド品作りを成功したので、それを盛岡市に提案したという経緯があります。全体的に啄木の観光スポットを紹介するということになるのですが、私どものサブテーマとして、啄木の楽曲作りをしている新井満さんをナビゲーターにして巡っていくという番組作りをしました。トーク・ナレーション・BGが重なって分かり難いところがあったというご指摘をうけましたが、私どもが番組を作るときは言いたいことはナレーションですので、ナレーションを優先にしてVTRの音、歌の音は少し押さえ込むという処置は取っておりますが、バランスが悪かったようです。富士見橋のご指摘がありますが、あそこは上の橋を中心とする中津川界限ということで話を終わらせたかったのですが、トークの中で広がって行きまして、富士見橋は昭和56年に出来たのでペンキも新しくて昔の話になじまないということで番組の中には入れなかったのですが、中途半端になったような気がします。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成20年2月26日(火)午前11時45分～11時52分放送)で、審議の概要を放送。
- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。